

議会だより

No.224

編集：議会広報特別委員会

令和7年 第4回定例会(12月11日)

12月11日に開催され、議案17件、報告3件、承認1件、発議1件が提出され原案のとおり決定した。

町長の行政報告がありました。
概要についてお知らせします。

町長行政報告

○主要農作物の販売見込み額について

・水稲

融雪期は平年並みであった。

4月後半からの降雨や低温により耕起・播種に多少の影響はあったものの、5月中旬以降はやや高温で推移したことから出穂期が早まり、生育は順調に進んだ。上川地帯の作況単収指数は96となり、収量は平年をやや下回る結果となった。作付面積は、うるち米・もち米を合わせ、

前年比3・68%減の184・12ヘクタールである。出荷数量は19・350俵、単収は10・5俵であり、全量1等との報告を受けている。販売見込み額は6億8,700万円余りとなり、

米価高騰が単価を押し上げた結果、前年比58%増と大幅に増加した。

・そば

作付面積は前年比1・85%増の3,374・54ヘクタールであった。出荷数量は37,416俵である。単収については、高温や7月から8月にかけての3度の集中豪雨の影響を受け、平年を下回る1・1俵となった。販売見込み額は4億2,300万円余りであり、前年比5・4%減となった。

○令和7年度北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞の受賞について

令和5年度より、幌加内町、JAきたそらち、エア・ウォーター北海道株式会社、JFE条鋼株式会社、株式会社巴商会の5団体で構成する「幌加内町バイオマス有効活用コンソーシア

ム」が事業主体となり、北海道の補助事業を活用して、そば殻を原料とした低コストバイオコークス製造技術の実証事業に取り組んでいる。今般、令和7年6月に北海道が主催した同促進大賞に応募したところ、新エネルギー部門の最高賞である大賞を受賞した。去る10月20日、北海道庁において三橋副知事より表彰状と盾が授与され、現在は役場正面玄関ホールに展示している。選考においては、日本一のそば生産地である本町で発生するそば殻をバイオコークス燃料として製造する技術、およびエネルギーの地産地消への取り組みが高く評価された。灯油や石炭コークスの代替燃料として、北海道のCO₂削減に寄与することが期待されている。今回の受賞を契機に、「日本一のそば生産地」というだけでなく、生産物由来の未利用材を余すことなく活用し、ゼロカーボンを推進する町として、民間企業とも連携を図りつつ、さらなる町のブランド力向上に努める所存である。

議会の様子をホームページで見ることができます！



議員の活動や広報など掲載しています。
議会ページは町ホームページから見るができます。

承認

○専決処分した事件の承認について（工事請負契約の変更）

「下幌加内線道路改良工事」において、工事発注後に設計と現場（基礎敷設面積等）の相違が判明し、工程上の緊急性が高かったため専決処分を行った件についての事後承認。

アスファルト舗装等の数量精査に伴い、契約金額を変更。

変更前…7,480万円

変更後…7,414万円（66万円の減額）

相手方…新共開発株式会社

条例制定

○幌加内町犯罪被害者等支援条例の制定について

国の基本計画および士別警察署管内（1市3町）での連携に基づき、犯罪被害者等への迅速な支援（経済的支援、居住の安定等）を行うための条例を新たに制定。

主な条例内容

○見舞金の支給（町内に住所を有する者が対象）

○遺族見舞金…30万円

○傷病見舞金…10万円

条例改正

○幌加内町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

○幌加内町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

○職員給与に関する条例の一部を改正する条例について

○幌加内町パートタイム会計年度任用職員の報酬について

○期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

○幌加内町フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

令和7年8月の人事院勧告および閣議決定に基づき、民間給与との格差を解消するため、町議会議員、特別職、一般職、会計年度任用職員の給与・報酬等の引き上げを行う改正。

主な改正内容

（町議会議員）12月の期末手当支給割合を0・05月分引き上げ。

（町長等特別職）期末手当を年0・05月分引き上げ（本年度は12月分に上乗せ）。

（一般職職員）給料表…平均

3・3%引き上げ（令和7年4月1日に遡及適用）。期末・勤勉手当…計0・10月分引き上げ（本年度は12月分に上乗せ）。宿

日直手当…4,400円から4,700円へ増額（遡及適用）。通勤手当…片道10km以上の区分で増額（遡及適用）。

（会計年度任用職員）パート

タイム・フルタイム共に「勤勉手当」を追加し、支給割合を定年前再任用短時間職員と同等にする（令和8年4月1日施行）。

○幌加内町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

国の旅費法改正に準拠し、旅費請求における職員の事務負担軽減（立替払いの解消等）や、旅費計算・規定の簡素化を図るための改正。

主な改正内容

○制度・手続きの変更

*直接払いの導入…「旅費役務提供者（旅行代理店等）」を規定し、町から業者への直接支払いを可能にすることで、職員の立替払いを解消。

*自宅出発…自宅からの出発を規定上承認。

*鉄道賃…指定席利用に関する

距離制限を撤廃。
*車賃…1kmあたり20円の定額とする。

*宿泊関連…日当を「宿泊手当（定額2,400円/夜）」に改める（食事付きの場合は減額）。また、パック旅行等の「包括宿泊費」を実費支給として追加。食卓料は廃止。

*その他…移転料の実費化、外国旅行の規定を国に準じた実費支給へ変更など。

○施行日…令和8年4月1日

○幌加内町在宅生活介護予防支援事業条例の一部を改正する条例について

自力での除雪が困難な高齢者世帯等を対象とした「除雪サービス事業」の手数料について、昨今の除雪費用の高騰や、他制度利用者（一般家庭や一部助成世帯）との負担の公平性を図るため、金額の算定方法を改定。

改正内容

○変更前…1シーズン6,000円（定額）

○変更後…1シーズン前年の町内除雪事業者料金の10分の1

○適用日…令和7年12月1日から適用。

○幌加内町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例についての件

近年増加傾向にあるヒグマへの対応（看板・箱罟設置、捕獲作業）に伴う危険性や、アラライグマ等の駆除作業に伴う不快な勤務実態を考慮し、従事する職員に対する特殊勤務手当を新たに追加する。

改正内容

- 手当の追加…「有害鳥獣等危険手当」を新設。
- 支給額…従事した日1日につき700円。
- 施行日…令和8年4月1日



○幌加内町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

医療費助成の対象年齢引き上げに伴い、条例の名称変更や規定の整備を行う。

主な改正内容

- 対象年齢の拡大…助成対象を「満15歳到達後の年度末（中

学生まで）」から「満18歳到達後の年度末（高校生相当まで）」へ引き上げ。

○名称変更…条例名を「幌加内町乳幼児等医療費の助成に関する条例」から「幌加内町子ども医療費の助成に関する条例」へ変更。これに伴い、引用する他条例（4件）の文言も整理。

○手続きの変更…受給資格確認において、マイナンバーカードによる確認を追加（保険証提示の代替）。

○施行日…令和8年4月1日



○幌加内町火入れに関する条例の一部を改正する条例

気象庁の用語変更および、近年の林野火災（岩手県大船渡市の事例等）を受けた消防庁の対策強化に伴い、火入れ（野焼き等）を中止すべき基準や文言を整理・強化する改正。

主な改正内容

○用語の変更…気象情報の現況に合わせ、「異常乾燥注意報」を「乾燥注意報」に改める。

○中止要件の追加…土別地方消防事務組合の条例改正と整合を図るため、火入れを中止すべき状況として、従来の強風・乾燥注意報や火災警報に加え、「林野火災に関する注意報」が発令された場合を追加する。

○施行日…令和8年1月1日

財産管理

○町有財産無償貸付を行った相手方の変更について

民間賃貸住宅建設事業用地として町有地（宅地2,490㎡）を無償貸付する件について、契約相手方の名義に誤りがあったため変更。

変更内容

- 6月定例会で議決された相手方を、以下の通り訂正する。
- *変更前…有限会社白井電設工業代表取締役 白井雅人（法人扱い）
- *変更後 白井雅人（個人扱い）

補正予算

○令和7年度幌加内町一般会計補正予算（第4号）

議員期末手当、ふるさと納税運営費、学生若者支援事業助成金、IP設備修繕料、ガバメントクラウド使用料、物価高騰重点支援対策費（水道料減免等）、老人家庭等福祉灯油代助成金、北部地域包括ケアセンターボイラー更新、高齢者生活福祉センター運営業務委託料、後期高齢者医療給付費負担金、ゼロカーボンイノベーション導入支援事業費補助金、乾燥調整施設増強設備導入事業補助金、畑地化促進事業補助金、商工業振興奨励補助金、町道調査設計業務委託料、全国瞬時警報システム受信機等更新委託料、学校施設等Wi-Fi環境整備、スキー場施設修繕料、地方交付税、ふるさと納税寄付金の増減により5919万5000円を減額し、総額47億1137万9000円とした。

院勧告）等の増減により23万1000円を追加し、総額2億1042万4000円とした。

○令和7年度幌加内町簡易水道事業会計補正予算（第2号）

水質検査委託料（PFOS等対応）、職員給与費（人事院勧告）、企業債利息、物価高騰重点支援策に伴う簡易水道使用料等の減免及び一般会計補助金の増減により収益的収入及び支出それぞれ53万1000円を追加し、収益的収入総額1億322万円、収益的支出総額9361万6000円とした。

○令和7年度幌加内町下水道事業会計補正予算（第1号）

一般職員給与と費（人事院勧告）、企業債利息、一般会計補助金の増減により138万2000円を追加し、収益的収入及び支出総額それぞれ1億3076万5000円とした。

○令和7年度幌加内町介護保険特別会計補正予算（第3号）

介護予防支援事業収入の会計間整理（雑入）、居宅サービス給付費、一般職員給与と費（人事



一般質問



蔵前議員

Q 役場内部のDXの推進状況は

A 本町の実態に適したDXを選別

Q 役場内部のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進状況について伺う。

町は令和4年に職員対象のセミナーを開始し、内部に推進会議を設置したが、その設置期限である令和8年3月末が迫っている。当初は令和6年度を「本格始動の年」としていたと認識しているが、現在の進捗状況は。

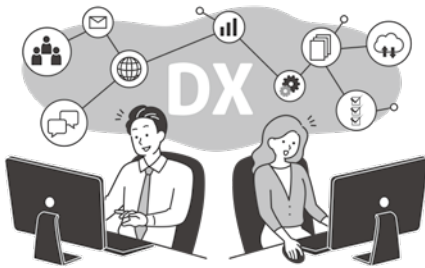
答弁 町長

A 令和4年に設立した推進会議に加え、各部署の職員によるワーキンググルー

プを設置している。今年度からはDX補佐官を任用し、先進地視察や勉強会を通じてスキルアップを図るとともに、セキュリティに関する指針も策定した。

実務面では、起案文書や公務出張伺いの電子化に加え、会議録作成に特化した高精度文字起こしアプリを導入し、業務効率化を進めている。日々進展する技術に対応するため、推進体制の設置期間は当面延長したい。

行政DXは「内部事務」と「住民利便性」に大別されるが、電話一本で済む用件に多大な経費をかけてまでシステム化する必要はないと考える。限られた財源の中で、本町の実態に適したDXを選別し、引き続き推進していく。



一般質問



寺崎議員

Q 視界不良で危険な雪山。安全確保へ流雪溝等の整備を。

A 国による従来の除排雪作業が現実的

Q 近年の降雪量は減少傾向だが、国道沿いでは雪が高く堆積し、交差点での視界不良など非常に危険な状態だ。

旭川市や美瑛市のように道路内に流雪溝を整備することは、雪深い本町において効率的であり安全確保にも資すると考える。また、国道沿いの空き地に融雪槽を設置し、住民自ら運搬することで排雪経費を節減できないか。

答弁

町長

A 国道275号は国の管理だが、流雪溝の水源確保や管路整備、維持管理は町が行うことになる。他市町村の実態として、高齢化で投雪ができず業者委託が必要なケースや、マナー違反による目詰まり等の問題が発生している。財政や業務負担を考慮すると、国による従来の除排雪作業が現実的である。

空き地への融雪槽設置は、近隣住民のみが恩恵を受け、離れた住民は利用困難であるため公平性を欠く。行政主体での設置は極めて難しい。



Q 安心して住み続けるため、除雪費用の助成や事業者への支援拡充を。

A 現行制度で対応していく。

Q 雪の問題は転出の大きな要因だ。定住促進のため、除雪組合への運営補助や町民が依頼しやすい価格帯への助成、人材確保支援、機械の購入・更新への助成など、サービスの拡充は考えられないか。

答弁 町長

A 現在は「冬期生活除雪支援事業」等で対応している。機械購入には個人に対し2分の1（上限40万円）、委託の場合は3分の2（上限70万円）を助成しており、除雪費支給も単価の5割を基準としている。現行施策は他地域と比較しても遜色なく、制度拡充は考えていない。担い手不足は課題だが、行政のみでは解決困難だ。「自助」「公助」が限界ならば、地域全体での「共助」が重要となる。新たな政策が必要となれば再度対応を検討する。

一般質問



藤井議員

Q 町唯一の食料品店「ホクレンショップ」の今後

A 正式な要望があれば町民生活第一に対応

Q ホクレンショップの在り方について伺う。

現状はホクレン商事の努力により維持されているが、運営は瀬戸際であり撤退も視野に入っていると聞く。同社から町に対し、店舗の建て替えや既存施設の修繕（耐震化、冷凍冷蔵設備の入替）、駐車場の増設（旧川崎豆腐店跡地の活用等）による歩行者の安全確保）など、具体的な要望は出ていないか。即座の対応は困難でも、買い物難民を出さないために町の見解を伺いたい。

答弁

A

人口減少下においても営業を継続いただいております。町民生活への貢献に感謝している。人手不足等で閉店時間が18時に繰り上げられており、町民から時間延長等の要望もあることから、同社と協議していきたい。

町長



ご質問にある「建て替え」「修繕」「駐車場増設」といった具体的な要望は、現時点では受けていない。ただし、副町長が本社を訪問した際、設備の老朽化が進んでおり更新の判断時期にあるとの報告は受けている。町民生活を支える大きな存在であるため、今後、協議の場合や正式な要望等があれば、「町民生活第一」をモットーに対応していく所存である。

一般質問



中川議員

Q 国の給食費無償化。実費との差額は町が負担すべきでは

A 差額は保護者負担と考えている

Q 国で小学校給食費無償化に向け、月額4,700円を軸とした案が出ている。10月に値上げした本町の実費との間に生じる差額について、義務教育無償化の観点から町が充当すべきではないか。

答弁

A

助成があっても実費との差額は残り、保護者負担はゼロにならない。本来は不足分も国が措置すべきだが、現状は自治体負担の議論もあり未決着だ。センター維持費等の町負

教育長

担も嵩むため、現段階では原則通り保護者にご負担願う考えであり、今後の国の動向を注視したい。

Q 中学校の給食費無償化に踏み出すべきではないか

A 国による全国一律の実施が望ましい

Q 国の方針は小学校からだが、小中ともに無償化する自治体が増えている。町の財政負担はあるが、中学校についても町単独で早期に無償化へ踏み出すべきではないか。

答弁

A

全国一律で不平等なく実施されることが望ましい。中学は単価も高く、まずは基本となる小学校の制度設計の行方を注視したい。現段階で町単独の負担は考えず、公平な制度となるよう国に要望しながら検討していく。

Q せめて今回の値上げ分については、保護者に新たな負担を求めない手立てが必要ではないか。

答弁

A

給食の役割と物価高対策は切り離して考えるべきだ。物価高への対応は臨時特別交付金の活用等を協議していくが、恒久的な無償化とは別個の対策として考えたい。

町長

より詳しい情報はこちらから

ご紹介した内容は、議会での議論の一部を要約したものです。全ての議事内容を記録した会議録は、幌加内町公式ウェブサイトからご覧いただけます。



決算審査特別委員会

令和6年度決算審査

全て認定されました!!

令和7年第3回定例会において「決算審査特別委員会」に付託された、一般会計をはじめ各特別会計の令和6年度決算は、それぞれ厳正に審査を行った結果、全ての決算は認定すべきと決定しました。

委員会審査での質疑を抜粋し、次のとおりお知らせします。

*決算審査日 令和7年10月21日・22日・24日

*特別委員会委員 議員7名（議長、監査委員を除く）

一般会計

歳出

△総務費▽

質疑 中南議員

Q 工事費の中にLED化工事が含まれているが、町内施設を中心に進められていると思う。公共施設全体として、どの程度の進捗（未実施分など）を把握しているか。

答弁 総務課長

A 現在、LED化が完了しているのは38施設。令和8年度に向けて、さらに32施設のLED化を予定している。

△企画費▽

質疑 中川議員

Q 農山漁村振興活動計画策定事業について、当該年度（令和6年度）は事業計画の策定のみを行ったのか、それとも具体的活動の実施もあったのか。

答弁 地域振興室長

A 計画については今年度（令和6年度）初めて策定した。計画策定以外にも、令和7年度実施予定のモニターツ

「脱炭素化推進事業債」の期限（令和8年度）もあるため、最終的には全施設の整備を行いたいと考えている。

奨学資金特別会計

質疑 中村議員

Q 収入未済額（奨学金返還金）について、正直なところ回収の見込みはあるのか、ないのか。

答弁 教育次長

A 本人への文書・電話連絡により督促を行っているが、一部返還はあるものの完済されていないのが現状である。同一人物が高校・大学・各種学校と重ねて借り入れ、未償還額が250万円ほどになっているケースもある。本人には「規定額でなくても返還可能な額で納入するように」と伝えている。連帯保証人（親など）にも連絡や面談を行っているが、「（親ではなく）本人が借りたものだ」として取り合ってもらえない案件が2件ほどある。兄弟3人が借り入れているケースで、1人はコツコツ返済しているが、他の2人は音沙汰がないという状況もあり、苦慮している。今後も様々な方策を考え、回収に努めていきたい。

議会日誌 10～12月

10月

- 14日 産建文教常任委員会行政視察（三笠市）
- 16日 秋の交通安全町民集会
- 17日 上川北部市町村議会議長会定例会（～18日）（美深町）
- 21日 決算審査特別委員会（～24日）、共和町議会常任委員会行政視察
- 30日 3町現地検討会（沼田町ほか）
- 31日 上川町村議会議長会正副会長会議（愛別町）

11月

- 6日 上川管内町村議会議員研修会（旭川市）
- 11日 議長上京（～17日）、上川町村議会議長会臨時総会（東京都）
- 12日 全国町村議会議長大会（東京都）
- 13日 広報委員会

- 17日 全国過疎地域連盟総会（東京都）
- 20日 全員協議会
- 24日 勤労感謝の日
- 28日 上川北部市町村議会事務局長会議（名寄市）

12月

- 4日 産業貢献者選考委員会、議会運営委員会
- 5日 スキー場安全祈願祭
- 6日 第2音楽隊第50回定期演奏会
- 10日 全員協議会
- 11日 町議会第4回定例会
- 16日 退職手当組合運営委員会（札幌市）
- 18日 地域行政連絡員（自治区長）会議
- 19日 3町広域振興協議会町長・議長会議（沼田町）